

# Dr.'s REPORT

RF SYSTEM lab.

ドクターズ・レポート | 「デジゲンNAOMI」をお使いのドクターによる  
製品やサービスに関する生レポートです。

## 今月のレポート医院

中村小児科様 (大阪府寝屋川市)



▲NAOMI以外にも当社製品をお使い  
いただいています。ノートパソコン  
左は「ライトアイ」。

### NAOMI旧機種からの格段の性能向上に驚き。

フィルム現像機が壊れ、買換えが必要になっていた時。ちょうど  
アールエフからNAOMIの先行機種のパンフレットが送られてきま  
した。当院では、せいぜい月に1~2枚程度の撮影。しかしフィルム  
や現像液の管理が非常に面倒でした。デジタルならこれらの管理が  
一切不要で、X線照射装置はそのまま使えるとのことで、先行機種  
を採用。しかし何度かトラブルが発生したこともあり、最近になって  
NAOMIに機種変更をいたしました。使用をはじめてみると、以前の  
ものより格段に性能が向上しており、トラブルもなく順調に稼働  
しております。

### 時間短縮の面でかなりのメリット。

NAOMIは、現像液やフィルム代などの維持費が全く不要なので、検査  
回数が多い場合はコスト的に優位だと思います。また、撮影から画像  
の確認→患者さんへの説明まで5分とかかりませんので、当院のよう  
に検査回数が少ない場合でも、時間短縮の面でかなりのメリットが  
あります。フィルムの場合は、現像液の温め→現像→定着→乾燥の  
プロセスが必要で、さらに現像液や定着液を調合する必要もあり、  
非常に時間がかかっていました。

### 暗室だったスペースは現在倉庫として再利用。

以前は、フィルムを誤って感光させてしまったり、現像液が古く  
なってしまったためうまく現像できなかったこともありましたが、  
デジタルではこうした心配がなくなりました。暗室だったスペースは、  
現在倉庫として再利用しております。作業は私一人で行えるので、  
X線検査にスタッフを関与させる必要がなくなりました。

### いずれは電子カルテとの連携を。

現在、当院ではNAOMIを学童期の患者さんのマイコプラズマ肺炎の  
診断に活用しています。

現状では、NAOMI PCを撮影室内に設置しているため、撮影した  
画像データは手作業で診察室のPCに移動し、患者さんに説明して  
おります。これもLANケーブルを活用すればスムーズにできると  
思います。また、いずれは電子カルテとの連携を考えたいと思います。

2007  
11  
vol.11

## マイコプラズマ肺炎の診断に活用。 月に数枚しか撮らないからこそ、 NAOMIが有効です。